

F 9 - 0 1

研 究 報 告 第 1 5 号

カウンセリングの考え方を活かして築く保護者との信頼関係

～事例から考える具体的なアプローチ～

平成 2 9 年 3 月

千葉県子どもと親のサポートセンター

序

先ごろ発表された次期学習指導要領等の改訂案では、社会の変化が加速度を増す中、これから学びゆく子供たちが大人になる頃の社会の在り方を見据えながら、どのように知・徳・体にわたる「生きる力」を育むのが重視されています。「主体的・対話的で深い学び」により、子供たちがこれからの時代に求められる資質・能力を身につけ、生涯にわたって能動的に学び続けることを目指しています。

その学習指導要領の趣旨を実現させるためには、教員の資質・能力の向上が重要な要素となります。しかし、これまで教育を支えてきた経験豊富な教員が大量退職し、経験の浅い教員（若年経験者教員）が急速に増加しているのが現状です。さらに、いじめ、不登校等の諸問題への対応、特別支援教育の充実等、様々な教育課題への対応が求められており、若年経験者教員の力量形成は、喫緊かつ重要な課題となっています。

当センターでは、これらの課題に対応するために、平成25・26年度には若年経験者教員の悩みや課題を把握し、学校で起こる事例と教育相談の理論やモデルを結びつけた「若い先生のための学級づくりハンドブック」を作成し、各研修会等を通して、活用を促してきました。

そうした中で、本研究は保護者対応に焦点を当て、平成27・28年度の2年間にわたり、若年経験者教員と保護者との信頼関係作りを目指して進めてきた調査研究です。27年度は、当センターに寄せられる保護者からの相談と、若年経験者教員への質問紙および聞き取り調査の両面から、若年経験者教員の保護者対応の実態と課題を明らかにし、28年度には、両者の信頼関係を築くため、教育相談の理論や知識をもとにした「10のアプローチ」を提言、さらに具体的な場面をもとに示した「若い先生のための保護者との信頼関係づくりハンドブック」を作成しました。

本研究が、各学校において、保護者と若年経験者教員をはじめとしたすべての教員の信頼関係づくりの一助になれば幸いです。

最後になりましたが、本調査研究を進めるにあたり、御指導いただきました文教大学教授 会沢 信彦 様、調査研究に御協力いただきました各学校の皆様、質問紙調査に御協力いただきました皆様に、厚く御礼を申し上げます。

平成29年3月

千葉県子どもと親のサポートセンター所長 鍵山 智子

カウンセリングの考え方を活かして築く保護者との信頼関係
～事例から考える具体的なアプローチ～

【目次】

I	主題設定の理由	1
II	研究の目的	1
III	研究の方法	
1	研究の方法	1
2	研究の概要	2
IV	研究1 「保護者との信頼関係に関する調査研究」	
1	保護者から見る学校や教員への要望	2
(1)	平成26年度電話相談分析調査	
ア	方法	2
イ	結果	3
(ア)	学校への不満・要望	3
(イ)	不登校・いじめと他の不満との関連	4
(ウ)	学校や教員への感謝	5
ウ	考察	5
(2)	相談員質問紙調査	
ア	方法	6
イ	結果	6
(ア)	困ったりこじれたりする原因となった学校の対応	6
(イ)	学校や教員に、保護者や子供への対応で心がけてほしいこと	7
(3)	考察	7
2	若年経験者教員から見る保護者対応	8
(1)	若年経験者教員質問紙調査	
ア	方法	8
イ	結果	8
(ア)	保護者から要望を受けた経験	8
(イ)	要望の具体的な内容	9
(ウ)	要望の要因	11
(エ)	保護者とのコミュニケーション	13
(オ)	対応の際に「つらい」「負担」と感じること	14
(カ)	保護者から相談を受けたときの対応で心がけていること	16
(キ)	保護者対応での成功体験や失敗体験	18
ウ	考察	23

(2) 若年経験者教員からの聞き取り調査	
ア 方法	25
イ 結果	25
(ア) 小学校	25
(イ) 中学校	26
(ウ) 高等学校	28
(エ) 特別支援学校	29
ウ 考察	30
(3) 考察	32
3 研究1 総合考察	33
V 研究2 「保護者との信頼関係を築くための理論等の研究」	35
1 保護者と信頼関係を築くための理論等の研究	
(1) 初期対応	35
(2) 傾聴	35
(3) リソース	37
(4) コミュニケーションの取り方	37
(5) 保護者理解	38
(6) 学校心理学	39
(7) 外部との連携	40
(8) 日常の連携	42
(9) 総合的な対応 いじめ	44
(10) 総合的な対応 不登校	46
2 ハンドブックの作成と活用の仕方	
(1) 構成	49
(2) 活用の仕方	50
VI 研究のまとめ	50
1 成果	50
2 課題	51